

第89期

期 末 報 告 書

(令和3年4月1日から)
(令和4年3月31日まで)



中日本興業株式会社

令和4年6月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は第89期（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

事業の概況	2
貸借対照表	5
損益計算書	6
会社の状況	7
「株主ご優待券」について	10
株主メモ／株式等に関するマイナンバーのお届けのお願い	

事業の概況

当事業年度のわが国経済は、政府の対策による新型コロナワクチン接種率の向上等もあり、景気は徐々に回復傾向が見られました。新種株の発生により再び感染者数の増加もあり、経済・社会活動など先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社では、引き続き政府・自治体および関係団体からの新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のガイドラインに基づき、安心・安全な環境を提供し、一層のサービス向上に努めてまいりました。

この結果、売上高は27億58百万円(前年同期比40.6%増)、営業損失は2億43百万円(前年同期は営業損失3億91百万円)、経常損失は1億18百万円(前年同期は経常損失3億11百万円)、当期純損失は2億2百万円(前年同期は当期純損失3億26百万円)となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

映画業界では、同感染症拡大の影響による2度の緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置が発出されたことにより、お客様のマインドの回復には未だ至りませんでした。また、洋画につきましては、公開延期が重なり、大きく影響を受けることとなりました。

そのような中、邦画・アニメ作品が貢献した結果、令和3年の全国入場人員は前年比8.2%増の1億14百万人、興行収入は同13%増の1,618億93百万円となりました。

全国のスクリリーン数については、前年より32スクリーン増加の3,648スクリーンとなりました。

当社シネマ部門では、10月からは「緊急事態宣言」が解除されたことに伴い、レイトショーの上映を再開させるなど、コロナ前の営業体制に戻り、よりの確かつ迅速な番組編成を実施することで、売上の最大化を目指してまいりました。

3月には、「ミッドランドスクエア シネマ」オープン15周年を迎えるにあたり、一部設備のリニューアル、各種記念イベントを実施し、お客様に感動の提供を行ってまいりました。

当事業年度の公開作品数は、邦画163作品、洋画94作品、アニメ86作品、ODS(映画以外のデジタルコンテンツ)174作品の合わせて、517作品(前期末比127作品増)を上映いたしました。

主な上映作品としまして、邦画では、4月公開「るろうに剣心 最終章 The Final」、7月公開「東京リベンジャーズ」、9月公開「マスカレード

・ナイト」、11月公開の「ARASHI Anniversary Tour 5×20 FILM “Record of Memories”」、洋画では、8月公開「ワイルド・スピード ジェットブレイク」、10月公開「007／ノー・タイム・トゥ・ダイ」、12月公開「ヴェノム レット・ゼア・ビー・カーネイジ」、1月公開の「スパイダーマン ノー・ウェイ・ホーム」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン 緋色の弾丸」、6月公開「機動戦士ガンダム 閃光のハサウェイ」、7月公開「竜とそばかすの姫」、12月公開の「劇場版 呪術廻戦0」、ODSでは、11月公開「劇場版 舞台『刀剣乱舞』 虎伝 燃ゆる本能寺」、6月公開「シネマ歌舞伎 翫賣戀曳網」、1月公開の「中島みゆき 劇場版 ライヴ・ヒストリー 2007-2016 歌旅～縁会～会」などの番組を編成いたしました。

また、お客様参加型のトークイベント付上映会の実施や、サブスクリプション型のサービスに参加をするなど、映画文化の活性化を進めるための活動を始め、8月からはお笑いライブ「よしもと名駅四丁目ライブ」もスタートさせ、バラエティに富んだラインナップを揃えてまいりました。

飲食部門では、10月1日に「LA BOBINE ガレットカフェ」を「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」へ生まれ変わらせ、ふんわりもっちりのドーナツを提供させていただき、映画館においても販売するなど、営業の改善を図ってまいりました。また、映画とのコラボレーション企画を実施し、店舗装飾や商品開発するなど、お客様に喜んでいただきました。名古屋市中種区の「覚王山カフェJi.Coo.」では、安心できる食材や製法にこだわったメニューの開発をし、「おいしさ」の追求を図っていき、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいりました。

その他、新たな試みとして参加しておりますアニメ「シキザクラ製作委員会」におきましては、昨年10月に東海エリア発の本格的テレビシリーズとなるアニメの放映が始まり、各配信サイトにおいても提供が行われました。

この結果、当事業では売上高は25億51百万円、営業損失は2億7百万円となりました。

【アド事業】

当事業は、「東京営業室」を軸に引き続き映画関連を中心とした営業活動をいたしました。映画関連は一部回復の兆しは見られたものの、催事・イベント等の開催に同感染症の影響が残り、厳しい状況で推移いたしました。また、コインパーキング事業につきましても新規案件が減少し、低迷いたしました。

この結果、当事業では売上高は2億6百万円、営業損失は36百万円となりました。

今後の見通し

同感染症による感染状況やウクライナ情勢によるわが国への影響が懸念され、先行きが不透明な状況が続くものと思われまます。

このような状況のもと当社では、引き続き同感染症の徹底した感染予防対策を施すことで、お客様が安心してご利用いただける環境を提供してまいります。

シネマ部門では、名古屋地区の映画・映像の情報発信基地として、さまざまな番組、さまざまなイベントを提供していくエンターテインメント性の高い劇場運営に努めてまいります。

今後上映予定の主な作品としまして、邦画では、6月公開「鋼の錬金術師 完結編 最後の錬成」、7月公開「キングダム2 遥かなる大地へ」、9月公開「沈黙のパレード」、冬公開の「ラーゲリより愛を込めて」、洋画では、7月公開「エルヴィス」、 「ジュラシック・ワールド 新たなる支配者」、8月公開「ソニック・ザ・ムービー ソニックvsナックルズ」、12月公開の「アバター:ウェイ・オブ・ウォーター」、アニメでは、7月公開「ミニオンズ フィーバー」、8月公開「ONE PIECE FILM RED」、11月公開「すずめの戸締まり」、冬公開の「SLAM DUNK」、ODSでは、「シネマ歌舞伎」や「METライブビューイング」など、幅広いジャンルの良質な作品を取り揃えております。

さらに、上質なアート作品をお届けする「アートレーベル」、コアなアニメ作品をお届けする「アニメレーベル」においても、より充実した番組編成をしてまいります。

飲食部門は、体に優しい食材の提供・商品開発に臨むとともに、イベント等も積極的に実施しながら、お寛ぎいただける空間の創造に努めてまいります。

アド事業では、強みである映画関連を中心に、配給会社、興行会社などのニーズをしっかりと捉えた営業活動を継続し、顧客満足度を上げるよう努めてまいります。

サービス業を営んでいる当社は、新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと図りながら、より良い商品を提供すること、そして、より良いサービスを提供するための人材育成、教育をすることにより、お客様に選ばれる施設となるよう、一層の精進をしてまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,336,825	流 動 負 債	625,185
現金及び預金	740,309	買掛金	335,537
受取手形	493	リース債務	58,165
売掛金	196,266	契約負債	36,341
有価証券	300,000	未払法人税等	9,047
商品及び製品	5,020	未払消費税等	18,540
原材料及び貯蔵品	2,017	未払費用	93,330
前払費用	30,084	賞与引当金	16,480
預け金	39,791	その他の	57,742
未収還付法人税等	1,762		
その他	21,080		
固 定 資 産	3,004,524	固 定 負 債	468,209
有形固定資産	(1,843,711)	リース債務	120,501
建築物	932,831	退職給付引当金	72,833
構築物	765	長期未払金	21,500
機械装置	54,168	資産除去債務	87,039
器具備品	160,033	受入保証金	104,244
土地	695,913	繰延税金負債	62,091
無形固定資産	(42,430)	負 債 合 計	1,093,394
電話加入権	1,147	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	41,283	株 主 資 本	3,066,130
投資その他の資産	(1,118,381)	資本金	(270,000)
投資有価証券	544,123	資本剰余金	(13)
関係会社株式	10,000	資本準備金	13
差入保証金	535,000	利 益 剰 余 金	(2,866,733)
長期前払費用	29,257	利益準備金	67,500
		その他利益剰余金	2,799,233
		配当準備積立金	160,170
		別途積立金	2,380,000
		繰越利益剰余金	259,062
		自 己 株 式	(△70,616)
		評価・換算差額等	181,824
		その他有価証券評価差額金	(181,824)
資 産 合 計	4,341,349	純 資 産 合 計	3,247,954
		負 債 純 資 産 合 計	4,341,349

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		2,758,040
売 上 原 価		1,470,387
売 上 総 利 益		1,287,653
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,530,912
営 業 損 失		243,259
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	11,506	
協 賛 金 収 入	9,345	
助 成 金 収 入	105,288	
出 資 分 配 金	2,408	
雑 収 入	1,843	130,392
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	41	
長 期 前 払 費 用 償 却	3,034	
雑 損 失	2,757	5,833
経 常 損 失		118,700
特 別 利 益		
投 資 有 価 証 券 売 却 益		53,752
特 別 損 失		
固 定 資 産 売 却 損	84	
固 定 資 産 除 却 損	400	
減 損 損 失	1,431	1,916
税 引 前 当 期 純 損 失		66,863
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,146	
法 人 税 等 調 整 額	134,071	135,217
当 期 純 損 失		202,081

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 状 況

■ 会社概要 (令和4年3月31日現在)

商 号 中日本興業株式会社 Nakanihon KOGYO. CO. Ltd.
本 社 名古屋市中村区名駅四丁目5番28号
設 立 昭和29年7月23日
資 本 金 2億7,000万円
従業員数 52名

■ 主要な事業所 (令和4年3月31日現在)

<劇場>

ミッドランドスクエア シネマ (14) 名古屋市中村区
ミッドランドシネマ 名古屋空港 (12) 愛知県西春日井郡豊山町

<飲食店>

覚王山カフェ Ji.Coo. 名古屋市中村区
ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー 名古屋市中村区

<展示装飾および看板の製作、広告代理店>

中日本エージェンシー 名古屋市中村区
中日本エージェンシー 東京営業室 東京都千代田区

- (注) 1. 劇場の () 内の数字は、スクリーン数です。
2. 「ミッドランドスクエア シネマ」および「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」は、当社と株式会社松竹マルチプレックスシアターズとの共同事業体が運営しております。
3. 「LA BOBINE ガレットカフェ」は、令和3年10月1日に「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」に改装オープンいたしました。

■ 役員（令和4年6月22日現在）

代表取締役社長 服部 徹 感動創造支援本部本部長

常務取締役 貴田吉晴 感動創造本部本部長
興行部担当

取締役 小塚 康 感動創造本部副本部長
企画営業部担当

取締役 山村知秀 (社外取締役)

取締役 高橋敏弘 (社外取締役)

常勤監査役 細川秀樹

監査役 岡本安史 (社外監査役)

監査役 田中誠治 (社外監査役)

執行役員 加藤康章 感動創造支援本部副本部長
経理部担当

執行役員 服部敬徳 感動創造支援本部
総務部担当 総務部部長

執行役員 上村慎治 感動創造支援本部
経営企画部担当 経営企画部部長

ホームページのご案内

当社のホームページにて、事業内容、サービス案内、決算情報等に関する詳しい情報をご覧いただけます。

<https://www.nakanihonkogyo.co.jp/>

中日本興業 検索

■ 株式の状況 (令和4年3月31日現在)

発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式の総数	530,753株 (自己株式9,247株を除く)
株主数	2,917名 (前期末比3名増)

■ 大株主 (令和4年3月31日現在)

株 主 名	持 株 数	持株比率
東 和 不 動 産 株 式 会 社	40,000株	7.53%
ト ヨ タ 自 動 車 株 式 会 社	30,000株	5.65%
松 竹 株 式 会 社	20,000株	3.76%
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	5,400株	1.01%
服 部 徹	5,200株	0.97%
廣 野 純 弘	4,392株	0.82%
濱 谷 亘 匠	4,300株	0.81%
岡 本 藤 太	3,700株	0.69%
服 部 敬 徳	3,000株	0.56%
横 山 秀 昭	2,800株	0.52%

(注) 1. 持株比率は、自己株式 (9,247株) を控除して計算しております。

2. 東和不動産株式会社は、令和4年4月27日付けでトヨタ不動産株式会社に変更いたしました。

■ 所有者別株式分布状況 (令和4年3月31日現在)

所 有 者	株 主 数	比 率	株 式 数	
			株 式 数	比 率
金 融 機 関	1名	0.03%	5,400株	1.00%
金融商品取引業者	2名	0.07%	142株	0.03%
そ の 他 法 人	51名	1.75%	102,600株	19.00%
外 国 法 人 等	0名	0.00%	0株	0.00%
個 人 ・ そ の 他	2,862名	98.12%	422,611株	78.26%
自 己 名 義 株 式	1名	0.03%	9,247株	1.71%
計	2,917名	100.00%	540,000株	100.00%

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末日）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末日現在の株主の皆様は8，9，10月、三ヶ月間のみでご利用いただける「株主ご優待券」および11，12，翌年1月、三ヶ月間のみでご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、期末報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末日現在の株主の皆様は2，3，4月、三ヶ月間のみでご利用いただける「株主ご優待券」および5，6，7月、三ヶ月間のみでご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

	使用期間三ヶ月	半 期
	映画＋カフェ	映画＋カフェ
100株以上	5枚 + 1枚	10枚 + 2枚
200株以上	10枚 + 2枚	20枚 + 4枚
300株以上	15枚 + 3枚	30枚 + 6枚
400株以上	20枚 + 4枚	40枚 + 8枚
500株以上	25枚 + 5枚	50枚 + 10枚
1,000株以上	40枚 + 8枚	80枚 + 16枚
2,000株以上	50枚 + 10枚	100枚 + 20枚
4,000株以上	75枚 + 15枚	150枚 + 30枚

ご利用可能施設

映画館		住 所	電話番号
ミッドランド スクエア シネマ	1～7番 スクリーン	名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5 F	(052) 527-8808
	8～14番 スクリーン	名古屋市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル2 F	
ミッドランドシネマ 名古屋空港		愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内	(0568) 39-3911
カフェ		住 所	電話番号
覚王山カフェ Ji.Coo.		名古屋市千種区丘上町1-39 覚王山フランテ2 F	(052) 751-1234
ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー		名古屋市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル1 F	(052) 583-5541

※株主ご優待券のご利用については、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.nakanihonkogyo.co.jp/company/>

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日・中間配当金9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所 メイン市場 (証券コード: 9643)
インターネットアドレス	https://www.nakanihonkogogyo.co.jp/

単元未満株式の買取、住所変更等、 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-232-711 (通話料無料)

インターネットアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式等に関するマイナンバーのお届けのお願い

- 株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。
- お届出が済んでいない株主様は、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。
- お手続き方法など詳細につきましては、証券会社等へお問合せください。

